

ながさき Woman's キャリアFILE

長崎県内の企業で活躍する多くの女性たち。
それぞれに思いや目標を思い描きながら、日々活躍しています。
そんな輝く女性5人をご紹介します。

株式会社スチームシップ (波佐見町・サービス業・技術職)



自分らしい地域との
関わり方を選択

地域ディレクション部
ディレクター
のだともか
野田智香さん

ライフヒストリー
22歳 大学卒業、他企業入社
26歳 スチームシップ入社

「地域の宝探しカンパニー」というコンセプトを掲げているスチームシップでは、主に地方自治体のふるさと納税支援事業を行っています。私はディレクターとして、長崎市、長与町、小倉町を担当。自治体と密に連携した上で、事業者開拓や返礼品の企画・開発、情報発信まで、チームで包括的に携われます。WEBを駆使した若者向けのスマートなアプローチが注目されがちですが、仕事内容は小さなことの地道な積み重ねです。何度も事業者の方のところへ通い、直接会って話します。納税額の増加だけを目指すのではなく、地域の課題解決やブランド価値の向上を目指して仕事に取り組んでいます。仕事とプライベートの切り替えは大切にしていて、休日は自然に囲まれた場所でゆっくりして癒やされています。

新卒では別の会社に入社しましたが、将来子育てをする場所として地元の長崎に戻りたい気持ちと、仕事における地域との関わり方を見直したい思いが転職のきっかけとなりました。若者の県外流出や地方離れがよく聞かれますが、スチームシップでは地域だからこそ働きたい、貢献したいと考える若い世代が中心となって活躍しています。そのような会社が長崎にあること、そして自分に合った地域との関わり方がきっと見つかることを、もっと多くの人に知ってほしいです。

株式会社ながさきプレス (長崎市・情報通信業・編集職)



地域の魅力を発信
雑誌編集者として

編集部
ともなが しゅうか
朝長絃華さん

ライフヒストリー
22歳 アルバイトとして勤務
23歳 大学卒業、入社

毎月発行している長崎県のタウン情報誌「ながさきプレス」の制作に携わっています。編集者という立場ですが、その仕事は多岐にわたります。リサーチや企画立案から始まり、誌面構成を考え、お店や街に足を運んでの取材・撮影・原稿作成まで、担当しているページは責任持って入稿まで管理します。締め切り前は体力的にきつい場面もありますが、雑誌が書店に並んだ時には大きな達成感があります。社内は若い同世代が活発に勤務していて、入社歴に関係なく、興味のある企画に取り組みやすい雰囲気だと感じます。今後は高校生や大学生とコラボした誌面を企画したいです。

もともと教員志望でしたが、大学3年次で進路について悩んで1年間休学しました。その時期にじっくり自分の将来について考え、またアルバイト先の社会人と話す中で、仕事選びの軸がやりがいと地域貢献に定まりました。そしてメディア関係に興味があったことから、ながさきプレスを志望。人に分かりやすく伝えるという点で、これまで目指してきた教員との共通点があると感じます。将来の進路に悩んでいる学生には、進んできた道には意味があって、きっとどこかでつながるから大丈夫だとアドバイスしたいです。

100人以上の女性の歩みを紹介

ながさき女性の活躍応援サイト

検索



株式会社テレビ長崎

(長崎市・放送業・アナウンサー)



報道制作部専任部長
かわなみみゆき
川波美幸さん

ライフヒストリー

24歳 大学院修了後、入社
35歳 結婚
36歳 第1子出産
39歳 第2子出産
41歳 専任部長へ昇進

ニュースに関わる仕事をしています。現在は、KTNの夕方のニュース情報番組「マルっと!」のMC、取材、ニュース項目・取材者の決定や原稿をチェックするデスク業務などをしています。大学時代は化学、大学院時代は遺伝子の研究を行う「理系女子」でした。大学に残って研究を続けようかとも考えたのですが、KTNが社員を募集していることを知り、「テレビ局の仕事って楽しそう!」という気持ちから入社試験を受けました。

小さな子どもがいるながら、仕事と家庭が両立できるのは、会社の人たちの理解や、夫や親の協力のおかげです。仕事への向き合い方も、子どもの迎えの時間があるため「〇時までに終わらせる」「どの順番で作業を進めていけば効率よくできるか」など時間の使い方を常に考えるようになりました。昔に比べれば、女性の社会進出も進みました。自分のしたいことがあるなら、「女性だから」「結婚したから」「出産したから」と諦めるのはもったいない。無理だと思ったら方向転換してもいいですし、まずは「挑戦してみる」ことが大事です。困ったり悩んだりしたときは、周りに相談したり助けを求めてください。きっと、力になってくれる人がいるはずです。

ザ・マーキーズ 株式会社ウエディング石川 (南島原市・ブライダル業・ウエディングプランナー)



営業・プランニング部
いしかわまゆこ
石川万祐子さん

ライフヒストリー

15歳 ウエディング石川のNY研修に参加
18歳 大学入学
20歳 インドネシアへ1年間留学
22歳 ビジネスガイド社に入社
23歳 ウエディング石川に入社

南島原で134年続くブライダル会社を家業に、働く父と母の背中を見て育ちました。当社では備品の買い付けやパーティーの最新トレンドを学ぶため、定期的にニューヨーク研修を行っています。中学3年のときテニスの大会で敗れ人生初の挫折を経験した私に、父はニューヨーク研修旅行への同行を勧め、世界の広さと視野を大きく持つことの大切さを教えてくれました。

人生の大きな節目である誕生、結婚、そしてお葬式。その中で、本人の口から周囲の人へ感謝を伝えられるのは結婚式だけであり、家族全員が集まって思いを伝え合える貴重な節目になります。当社の自慢はニューヨークからデザイナーを招いてつくり上げた空間と一流のサービスです。熊本や鹿児島など県外からのお客さま多く、本物へのこだわりと誠実な企業運営で地方という立地に関係なく選んでいただけるのだと感じています。働き方についても、地方の中小企業だからこそできる身軽さで社員の声をすくい上げ、その時々に必要とされるサポートを整備。職場環境づくりにより雇用が安定し、それがお客様満足へと還元され、企業が成長することで地元を活性づけることができると考えています。

三菱重工業株式会社 (長崎市・製造業・研究職)



総合研究所化学研究部
化学第一研究室主任
うれしのあやこ
嬉野絢子さん

ライフヒストリー

20歳 高等専門学校卒業、入社
30歳 結婚
32歳 出産
33歳 主任に昇進

現在は化学分析に関わる研究開発業務、サービス工事に携わっています。火力発電所や二酸化炭素回収装置に関わり、間接的ですが、学生時代の夢「地球環境に役立つものを開発すること」が実現できることに喜びを感じています。化学分析では、水や排ガスに含まれる有害成分の種類や量を測定するなど化学技術を活用し、目に見えないもの(分子やイオンなど)を目にする形(数字やデータ)に変えられることに面白さを感じています。

育休から復職した直後は、子どもの突然的な病気や緊急の仕事に対応できないなど、周囲にサポートを求めるが増え、できない自分を責めて自己嫌悪に陥ったこともあります。完璧を求め、自分を奮い立たせるのではなく、仕事と育児を頑張っている自分を認めてあげることが大切だと気付きました。自分の心に寄り添うことで、冷静に物事の判断ができるようになったと思います。仕事も趣味も全力投球だった私は「子どもを産んだらできないことが増える」と思い込んでいましたが、実際はできることも楽しいことも増えました。欲張りなので、仕事も育児も趣味もやりたいことがたくさんあります。無理せずに楽しみながらやり抜く方法を模索中。成長し続ける自分でいたいです。

長崎県男女参画・女性活躍推進室 ● 長崎市尾上町3-1 ● Tel 095-822-4729